

特集

ストレングス・マッピングシートを ケアに使ってみて、どうでしたか？ できたこと、難しかったこと

ストレングス・マッピングシートを実際に看護現場に導入してみた方々に、経験を紹介いただきます。最終的には萱間真実先生に、実践されるなかで生じた疑問、困難にどう対処すればよいのかというアイディアを教えてください。

《訪問看護で使ってみた経験》

倶知安厚生病院／名寄市立総合病院／訪問看護ステーション円

《病棟で使ってみた経験》

山梨県立北病院／長谷川病院

⇒実践者の疑問・困難に、萱間真実先生が答えます

特別記事

日本赤十字看護大学退官記念講演
武井麻子「感情と看護と私」

誌上企画セミナー

ちょっとみんなで
エシカ(etical:倫理)らない?◎吉井ひろ子

レポート

往診を中心とする精神科医療
「こころのホームクリニック世田谷」を取材
◎近田真美子

特別記事

私(CNS)は、独立して企業を起こしました
ぜったい地域へ
◎中野真樹子

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

編集後記

今月の進行は、超ギリギリというか、ダメというか…かなり切迫でした(雑誌におけるクリニカルパス構築の失敗ですね)。だいたい特集が2本というアウトカムの設定が間違っていますよね。しかも切迫しているのに少女マンガ家の方にイラストをお願いし、それを特集に入れたいという思いつきも捨てられない。仕事では分野違いのPTの書籍にも手を出し、私生活では子供会会長になるというバリエーションも増やし、一体何をやっているんだか。次号こそ、クリニカルパスを正しく設定し、ゆとりある進行ができる真人間を目指します。▼さて、今特集でもよい面がクローズアップされるクリニカルパスですが、一方でこんな話も。急性期化でゆとりがなくなり、クリニカルパス通りに進行できることが高く評価され、パス以外のこと、例えばちょっと例外的なケアを提案したり、可能性を示唆することは煙たがられるようになったと。精神科の経験知はもちろん、生活者としての素朴な実感を臨床に生かそうというのが、オープンダイアログをはじめ最近のトレンドのはずなのですが…。(石川@雑談ならまかせてください)

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第18巻第3号 2015年5月15日発行(隔月刊) 発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2015, Printed in Japan 販売部: ☎03-3817-5659

「精神看護」編集室: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン: 高見清史 (view from above) 表紙写真: 齋藤陽道 印刷・製本: 株式会社アイワード

1部定価: 本体1,300円+税 2015年年間購読料(送料弊社負担、年間6冊): 本体7,080円+税(冊子版)／本体10,080円+税(冊子+電子版/個人)／本体11,160円+税(冊子+電子版/共有)／本体7,080円+税(電子版/個人)／本体8,160円+税(電子版/共有)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@copy.or.jp)の許諾を得てください。

*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。